



令和8年度

学校教育の方針と重点

I 方針

- 1 一人一人を大切にし、自己肯定感や安心感など心のウェルビーイングを高め、豊かな人間性と確かな学力を身に付けた子供の育成
- 2 根気や自立性を高め、未来を切り拓くために必要な資質・能力を備えた子供の育成
- 3 自然や文化を慈しみ、郷土を愛し、人権を尊重し合い、多様な人々と協働して社会の課題解決に取り組む子供の育成
- 4 心身ともに健康で体力のある、たくましくしなやかな子供の育成

湯浅町教育委員会

II 指導の重点

1. 特色と活力のある学校経営の確立と家庭・地域との連携の強化

- (1) 「つながろう 湯浅! ~『歴史と人のぬくもりで支え合うまち 湯浅』を目指して~」の理念のもと、学校・家庭・地域が目標を共有し、共創による学校づくりを推進する。
- (2) コミュニティ・スクールの仕組みを活かし、地域とともにある特色ある教育活動の充実を図る。
- (3) 社会教育との連携を強化し、生涯学習の視点に立った持続可能な地域づくりに貢献する学校経営を進める。

2. 学習指導の充実と探究的な学びの深化

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を一層進めるとともに、探究的な学習を重視し、子供自ら問いを立て、考え、協働して解決する力を育成する。
- (2) I人I台端末や生成 AI 等のデジタル技術を適切に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と質の向上を図る。
- (3) ふるさと教育、防災教育、国際理解教育、情報教育、食育、キャリア教育、環境教育、プログラミング教育など、今日的課題に対応した横断的・総合的な学習の充実を図る。

3. 道徳・人権教育の充実

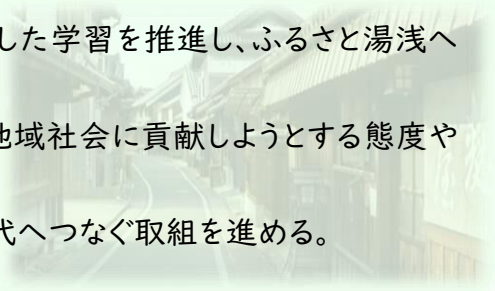
- (1) すべての教育活動を通じて人権尊重の精神を基盤とし、多様性を認め合い、思いやりと寛容の心を育む。
- (2) 自己の責任を果たし、互いに支え合う集団づくりを進め、協働して課題を解決する態度や社会参画意識を養う。
- (3) 体験活動や交流活動を充実させ、児童生徒一人一人の個性の伸長と豊かな人間性を育成する。

4. 生徒指導・教育相談の充実とウェルビーイングの向上

- (1) 子供の自己肯定感や安心感を基盤とした予防的・支援的生徒指導を推進し、一人一人のウェルビーイングの向上を図る。
- (2) いじめ、不登校、問題行動等の未然防止・早期発見・早期対応に努め、家庭・地域・関係機関と連携した組織的支援体制を構築する。
- (3) 子供の自主的・自治的活動を重視し、主体性や連帯感、社会性を育成する。
- (4) 教育相談体制の充実を図り、安心して学べる学校環境づくりを進める。

5. ふるさと教育の推進

- (1) 地域の自然・歴史・文化・産業・人材を活用した学習を推進し、ふるさと湯浅への愛着と誇りを育てる。
- (2) 地域課題の解決に取り組む学習を通して、地域社会に貢献しようとする態度や実践力を育成する。
- (3) 郷土の文化遺産の理解と継承に努め、次世代へつなぐ取組を進める。



6. 特別支援教育の充実

- (1) 特別に支援を要する子供の实態を的確に把握し、個に応じた適正な支援計画や指導計画のもと、特別支援教育の充実を図る。



7. 健康安全と体力の向上

- (1) 子供の基本的な生活習慣の確実な習慣化を図る。
- (2) 安全教育を充実させ、防災・安全管理体制の強化に努める。
- (3) 運動に親しむ態度を養うとともに、体力の向上を図り、健康でたくましい子供を育成する。



8. 幼児期教育との連携

- (1) こども園、保育園、幼稚園、小学校、中学校の連携を強化し、就学前から義務教育修了までの学びと育ちを円滑につなぐ系統的な教育を推進する。



9. 教育の情報化の推進

- (1) 日常的にICTを活用できる教育環境を整備し、学習活動の質の向上を図る。
- (2) 教員のICT活用指導力及び情報活用能力の向上を図る。
- (3) 校務のDX化を推進し、業務の効率化と教育の質の向上を両立させる。



教職員の働き方改革と専門性の向上

子供や保護者に向き合う時間及び教材研究の時間を確保するため、業務の見直しと効率化を進めるとともに、教職員のウェルビーイングの向上を図る。

また、研修の充実により専門性を高め、学び続ける教職員集団の形成を目指す。



湯浅町教育委員会

〒643-0002

和歌山県有田郡湯浅町青木 668-1

TEL:0737-63-1111 FAX:0737-62-3601

